

岩手わんこそばラウンド報告書

7杯目!

平成31年2月9日(土) 岩手大学教育学部附属小学校
参加者 50名(広島、東京、埼玉、福島、山形、秋田、岩手)

- 1 公開授業 小学校第4学年 ボール運動ネット型「ハンドテニス」
指導者 渡辺 清子 教諭
- 2 研究協議 助言者 埼玉大学教育学部 石川 泰成 准教授
- 3 単元構造図ワークショップ 球技「ネット型」攻守一体型を中心に
- 4 情報提供 スポーツ庁 高橋 修一 教科調査官



1 公開授業を参観しました

本時の目標「ボールの方向に体を向けて、移動することができる」(知識・技能)



ネット型(ハンドテニス)の簡易単元構造図

学習目標	(知・技) 基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、難しい(思・判・表等) ルールを工夫したりゲームに応じた作戦を選んだりして、考えたことを友達に(主体的に学習に取り組む態度) 運動に進んで取り組み、ルールを守って友達と運動をしたり友達				
学習の流れ	1	2	3	4 本時	5
10	オリエンテーション ・約束や決まりの確認 ・ゲームの説明 ・試しのゲーム ・動き作りの説明	動き作りの反復メニュー(ボールキャッチ・ボルトントン・パス)	課題 ルール作りの 試しゲーム ボールをつなぐ	課題 ラリーを切つ	
20		課題の話し合い	タスクゲーム キャッチラリー・ラリーゲーム		
30		完成したルールでハンドテニス		ハンドテニス(ラリーゲーム)	ハンドテニス(得点ゲーム)
40					
45					振り返り(体育ノート記載)
評価	知・技 思・判・表 主体的に学		①	②	②

テニスを基にした易しいゲーム「攻守一体プレイ型 ハンドテニス」の授業を参観しました。4年つき組の子供たちは寒さに負けず、元気いっぱい学習に取り組みました。

担任の渡辺先生は、笑顔があふれる体育授業を目指し、これまで学級全員の技能を保障するためのセットメニューやゲームを多く取り入れ、本時はラリーを続けるための技能に焦点を当てた授業を展開しました。

本県は小規模校も多く、連携タイプ以外のネット型の公開授業は大変貴重なものでした。

2 公開授業について熱く協議しました

小中の教員、学生、指導主事が、校種や立場を超えて、授業について協議しました。テニス型(攻守一体プレイ型)については、やはり授業を見る機会も実践した経験もない方がほとんどで、熱心な意見交換がなされました。



そもそも基礎技能とは何なのか。他のボール運動では、ボールの方向に体を向けること(本時の課題)や、ボールの正面に入ることが大切であるが、テニス型はそうではない? どの位置にどのような向きで入ることを指導するのか? これまでにない新鮮な視点での協議は、大変盛り上がりました。



岩手わんこそばラウンドに、初めて埼玉大学の石川泰成先生が来てくれました。事前に公開授業の指導案をお送りしたところ、「私（石川先生）は、授業の何を見に行くのだろう？」と自問し、授業を見るポイントを予め整理されてきておりました。これを見せていただだけでも、授業改善のポイントがよく分かりました。

研究協議では、技能面に話題が集中しましたが、「子供たちが話し合いをして技能ポイントを確認したら、それをやってみる時間を確保すること。」「ラリーを続けるために、二人がどのような連携でポジションをとればよいか作戦を選ぶことは思考・判断の学習であること。」等、授業の具体的場面をもとに様々な助言をいただきました。



3 単元構造図のワークショップ 攻守一体タイプのネット型を中心に

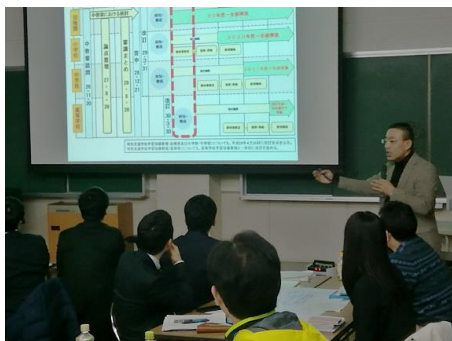
公開授業の研究協議を経て、ネット型（攻守一体タイプを中心に）の単元構造図の作成をしました。石川先生からは、単元を文脈で語るができるようにすることが大切とのアドバイスをいただきました。

これまで指導経験のあまりない単元ではありましたが、学習指導要領解説の例示等を参考にしながら、9つのオリジナル単元計画ができました。

その後は、1人ずつ交代で自分たちの単元計画を説明しました（1分30秒ずつ）。研修内容が一番身に付くのは、講義を聴くことではなく、自分で説明することだそうです（by 石川先生）。



4 新学習指導要領の実施に向けて



公務多忙の中、午後から高橋調査官が駆けつけてくださり、新学習指導要領実施に向けた最新の情報が提供されました。

学生や若い教員の参加が多かったこともあり、育成を目指す資質・能力の三つの柱等の基礎的な話から始まり、学習指導要領を踏まえた授業改善のポイントや、気になっていた学習評価の在り方等について説明いただきました。

子供たちの生きる力の育成、豊かなスポーツライフの実現に向けては、これらのことを理解した上で、授業改善に取り組むことが重要との認識を新たにしました。



5 ネットワークをさらに広げて ～ 夜の部 情報交換会 ～

情報交換会には30名の参加がありました。広い県土をもつ岩手では、現在10地区で自主的な体育学習会が行われています。今回は、そのような体育授業をさらによくしたい仲間が集まり、有意義な情報交換がなされました。

県外からは、遠く広島、福島、山形、秋田、東京、埼玉から参加いただきました。このような体育に情熱を向ける方々からは、大いに刺激を受けました。今後もこのネットワークをさらに広げて、体育・保健体育指導の充実がさらに図られていくことを願います。

